

水と緑の首都ヘルシンキ、世界遺産の旧市街タリン、古都トウルク フィンランド&エストニア7日間

日付	都市	時間	日 程	宿泊地	食事
7/19 (木)	ヘルシンキ	午前	成田または中部または関西空港集合 搭乗・出国手続後、空路ヘルシンキへ	【ヘルシンキ 泊】	機 機 夕
		午後	ヘルシンキ国際空港到着、入国手続 専用車で市内ホテルへ		
		夕刻	レストランにて夕食		
7/20 (金)	ヘルシンキ	朝	ホテルにて朝食	【ヘルシンキ 泊】	朝 昼 夕
		午前	専用車にてヘルシンキ市内の観光へご案内 (マーケット広場、ヘルシンキ大聖堂、ウスペンスキー 寺院、テンペリアウキオ教会など)		
		昼	市内レストランで昼食		
		午後	ホテルに戻り 自由行動 ◎患者様は市内病院で透析		
7/21 (土)	タリン	早朝	ホテルにて朝食(BOX朝食になる場合がございます)	【ヘルシンキ 泊】	朝 昼 夕
		朝	専用車にて港へ		
		午前	高速船でエストニアの首都タリンへ 到着後、世界遺産の旧市街の観光にご案内 (聖オレフ教会、アレクサンドル・ネフスキー教会、ラエコヤ広場など)		
		昼	途中、レストランにて昼食		
		午後	観光後、再び高速船でヘルシンキへ		
		夜	着後、レストランにて夕食		
7/22 (日)	トウルク	朝	ホテルにて朝食	【ヘルシンキ 泊】	朝 昼 夕
		終日	専用車でトウルクへ 着後、トウルクの観光にご案内 (トウルク城、トウルク大聖堂、ルオスタリンマキ手工芸 博物館など)		
		昼	途中、レストランにて昼食		
		午後	観光後、専用車でヘルシンキへ		
		夕刻	着後、レストランにて夕食		
7/23 (月)	ヘルシンキ	朝	ホテルにて朝食	【ヘルシンキ 泊】	朝 昼 夕
		午前	専用車と船でスオメンリナ要塞の観光へご案内		
		昼	観光後、レストランにて昼食		
		午後	食後、ホテルに戻り自由行動 ◎患者様は市内病院で透析		
7/24 (火)	ヘルシンキ	朝	ホテルにて朝食	【機内 泊】	朝 昼 機
		午前	出発まで自由行動		
		昼	ホテルを出発、レストランにて昼食		
		午後	食後、専用車で空港へ		
		夕刻	出国・搭乗手続後、空路帰国の途へ		
7/25 (水)		午前	成田・中部・関西空港到着、入国手続・通関後、解散		機

旅行期間

7月19日(木)～7月25日(水)

旅行代金

出発地：東京・名古屋・大阪

560,000円

(2名1室ご利用の場合のお1人様あたり)

◎燃油サーチャージ、空港税について:燃油特別付加料金(燃油サーチャージ)、並びに海外の空港使用税及び国内空港の空港施設使用料、航空保険料は旅行代金に含まれます。今後、燃油サーチャージに増減があった場合でも、旅行代金に変更はございません。
◎成田・中部・関西の各空港より出発し、ヘルシンキ・バンダー国際空港にて合流いたします。前泊が必要になる場合がございます。
◎添乗員は、関西空港より同行いたします。

- 利用予定航空会社:フィン・エア
- 利用予定ホテル:ヘルシンキ オリジナル・ソス・プレジデント
- 食事条件:朝5回・昼5回・夕3回
- 一人部屋追加料金:77,000円(5泊分)
- 現地透析:2回(ヘルシンキ)
- 透析費用:1回約45,000円
- 最少催行人員:6名
- 査証:フィンランド及びエストニア入国には査証は必要ありませんが、パスポートの残存有効期限がフィンランド出国時に3ヶ月以上必要です。また、パスポートの未使用査証欄が連続で3ページ以上必要です。
- 渡航情報(危険情報):フィンランドおよびエストニアには現在危険情報は出ていません。詳しくは外務省の渡航情報ホームページをご覧ください。
(<http://www.anzen.mofa.go.jp>)

【旅の見どころ】

- ヘルシンキ:フィンランドの首都。「バルト海の乙女」や「北欧の白い都市」などと呼ばれ、複雑な海岸線が生み出す水辺の風景が美しく、街の30%以上を緑地や公園が占めています。19世紀に建設された、白亜の外壁に緑色のドームが美しいヘルシンキ大聖堂や、キリストと12使徒のテンペラ画、が有名なウスペンスキー寺院、500年近い歴史を誇り、生鮮食品や土産物店で賑わうマーケット広場などを巡ります。
- タリン:エストニア共和国の首都。旧市街は世界文化遺産に指定されており、入り組んだ石畳の路地と可愛らしい街並みは、中世の世界に迷い込んだような気分を味わえます。高さ124mの先頭が美しい、13世紀中頃に建てられたゴシック建築の聖オレフ教会、タマネギ型の屋根が一際目を引くロシア正教のアレクサンドル・ネフスキー教会、旧市街の中心に位置し、旧市庁舎の建つラエコヤ広場などを巡ります。ヘルシンキからバルト海を渡って、片道約2時間の船旅もお楽しみ下さい。
- トウルク:スウェーデン統治時代の首都であり、ハンザ同盟の主要都市としてヘルシンキよりも長い歴史を持つフィンランド西部の古都。国内最古の13世紀に建設が開始されたトウルク城、フィンランドを代表する中世の教会、トウルク大聖堂、職人の古い民家が30軒ほどあり、家の内部も種々の職人の仕事場がそのままに再現されているルオスタリンマキ手工芸博物館などを訪れます。
- スオメンリナ要塞:世界文化遺産に指定された群島、スオメンリナ島にある18世紀の軍事要塞で、ヘルシンキのエテラ港からフェリーで渡って訪れます。